

山 行 報 告 書

山名：北岳(3,193m)・間ノ岳(3,190m)・農鳥岳(3,051m) (山梨県)	
入山日：平成26年7月23日(水)～26日(土) 日帰り・(3泊4日) 帰宅予定日：7月26日	
プラン担当者 正： 副：	
参加者	L： 報：田中正 記：田中正 田中正 他1名
	男 2名、女 名、計 2名
	
記録	集合時間： 午前 時 集合場所：
7月23日(水)	大宮(12:00)＝(圏央道・中央道)＝甲府南IC＝奈良田温泉(15:39)
7月24日(木)	奈良田(5:30)＝広河原(6:24)－白根御池小屋(9:08)－北岳肩の小屋(12:33)－北岳山頂(13:46)－北岳山荘(14:58)
7月25日(金)	北岳山荘(5:15)－中白根山(5:57)－間ノ岳(7:07)－農鳥小屋(8:45)－西農鳥岳(9:53)－大門沢下降点(12:04)－大門沢小屋(14:36)
7月26日(土)	大門沢小屋(5:15)－吊橋(7:51)－第一発電所(8:53)－奈良田温泉(9:19)＝増穂IC＝(中央道・圏央道)＝大宮(15:50)
荒天候時のエスケープルート：	
装備と食糧	共同装備：ツエルト(1)、
	共同食： 個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、携帯 個人食： 24日昼食、水、行動食
感想 田中正	台風8号の影響で、夜叉神～広河原が通行止めとなっていて、芦安方面から広河原に入るハイカーが奈良田に廻ったため、5時半出発の広河原行の3台のバスは鮎詰め状態になった。アルペンプラザ前から白根御池コースを辿り、北岳肩の小屋から北岳に登る。シナノキンバイ、ハクサンイチゲなど花盛りだったが、晴れ間はあったものの山頂はガスに覆われていた。3日目は北岳山荘を5時15分に出発。快晴に近い青空の下、中白根、間ノ岳、農鳥岳と3,000mの稜線を進む。中白根から振り返ると、北岳の鋭鋒が聳え、左に甲斐駒、右後方にハヶ岳の姿も見える。間ノ岳からは、下に農鳥小屋、前方に緑濃い農鳥岳が大きい。富士山の姿も左手に存在感を示していた。農鳥から鉄製の櫓の立つ大門沢下降点まで来ると、ここから稜線を離れ、大門沢小屋までの長い下りが始まる。この日、小屋は多くのハイカーで賑わっていた。